

# 東北地方 3か月予報

(5月から7月までの天候見通し)

平成22年4月22日  
仙台管区气象台発表

## <予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
この期間の平均気温は、平年並または低い確率がともに40%です。降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。

5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温の変動が大きいです。

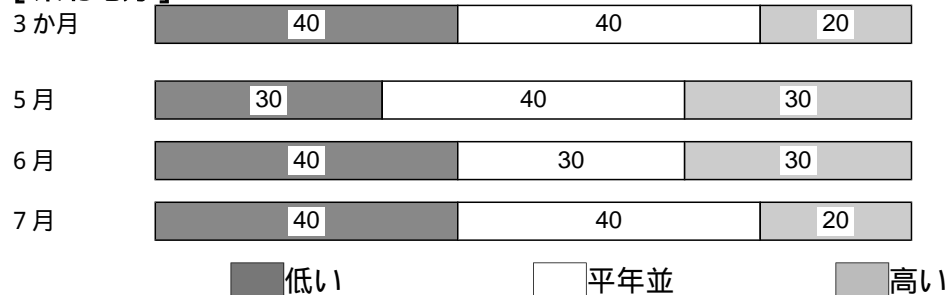
6月 東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温が低くなる時期がある見込みです。

7月 東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。気温が低くなる時期がある見込みです。  
気温は、平年並または低い確率がともに40%です。降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。

## <向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

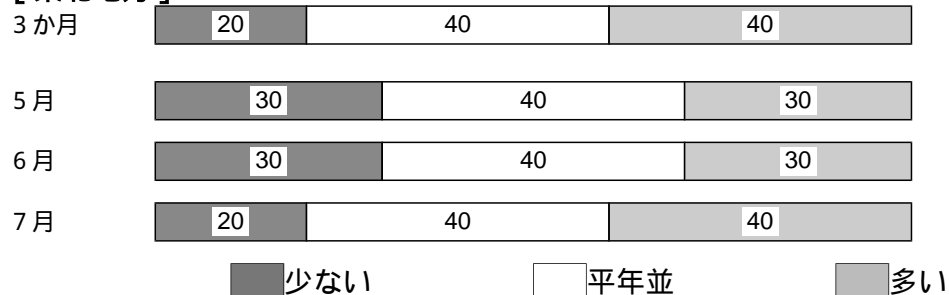
### <<気温>>

#### [東北地方]



### <<降水量>>

#### [東北地方]



**< 次回発表予定等 >**

1 か月予報：毎週金曜日 14 時 30 分 次回は 4 月 23 日

3 か月予報：5 月 25 日（火） 14 時

5 月の予報については、新しい資料による次回以降の 1 か月予報を適宜ご利用ください。

なお、最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2 月 25 日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

# < 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温( )				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	5月	6月	7月	5月～7月	5月	6月	7月	5月～7月	5月	6月	7月	5月～7月
青森	13.1	17.0	21.1	17.1	78.8	82.2	102.6	263.6	210.1	180.7	177.3	568.1
深浦	13.0	17.2	21.3	17.2	108.8	109.4	146.0	363.4	197.4	179.6	177.7	554.7
むつ	12.1	15.6	19.6	15.8	92.3	109.0	122.8	324.0	207.7	162.6	151.1	521.4
八戸	13.1	16.1	20.2	16.5	84.7	99.2	117.1	301.0	207.5	168.8	169.0	545.4
秋田	14.2	18.8	22.8	18.6	122.8	127.5	178.1	428.4	191.4	178.0	171.5	540.8
盛岡	13.8	18.2	21.8	17.9	103.3	114.9	165.7	384.0	194.9	151.7	143.2	489.8
大船渡	13.6	17.3	21.0	17.3	149.8	171.5	170.3	485.6	196.3	148.2	150.0	494.5
宮古	13.1	16.0	20.0	16.3	98.4	117.3	139.2	354.8	191.8	140.4	149.4	481.6
仙台	14.9	18.3	22.1	18.4	107.9	137.9	159.7	405.5	198.7	127.9	127.7	454.3
石巻	14.0	17.7	21.3	17.6	98.2	111.6	131.0	340.9	206.5	145.6	147.9	500.0
山形	15.4	19.5	23.2	19.4	81.3	102.6	143.9	327.8	201.9	153.8	155.8	511.5
新庄	14.2	18.7	22.3	18.4	106.6	131.0	185.6	423.3	180.1	152.7	154.4	487.2
酒田	14.9	19.3	23.2	19.1	116.8	128.1	186.1	430.9	198.7	175.9	179.8	554.4
福島	16.5	19.9	23.5	20.0	87.5	118.1	144.8	350.4	198.1	130.1	133.4	461.6
若松	15.5	19.8	23.4	19.6	80.5	115.7	160.1	356.3	197.9	157.9	168.9	524.7
白河	14.8	18.4	22.0	18.4	120.0	167.6	186.8	474.4	188.4	121.9	129.4	439.9
小名浜	15.1	18.3	21.7	18.3	147.0	149.8	120.5	417.3	198.4	138.4	153.1	489.9

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	5月	6月	7月	5月～7月
気温平年差( )	東北地方	-0.3 ～ +0.4	-0.6 ～ +0.2	-0.1 ～ +0.6	-0.3 ～ +0.2
	東北日本海側	-0.3 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.2	-0.2 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.3
	東北太平洋側	-0.3 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.2	-0.3 ～ +0.8	-0.3 ～ +0.3
降水量平年比(%)	東北地方	86 ～ 115	82 ～ 118	89 ～ 117	96 ～ 113
	東北日本海側	84 ～ 110	71 ～ 105	83 ～ 123	97 ～ 109
	東北太平洋側	82 ～ 111	88 ～ 111	85 ～ 114	91 ～ 106
日照時間平年比(%)	東北地方	98 ～ 105	95 ～ 106	92 ～ 109	96 ～ 104
	東北日本海側	95 ～ 104	96 ～ 107	88 ～ 108	96 ～ 105
	東北太平洋側	99 ～ 106	90 ～ 108	93 ～ 110	97 ～ 105

（３）梅雨時期前後における各地の平年の気象経過

旬降水量 平年値 (mm)	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
青森	30.0	22.6	26.2	23.6	30.9	27.8	36.8	27.7	38.2	43.2	33.8	52.3
深浦	41.3	33.5	34.0	29.4	44.4	33.6	54.4	43.2	48.3	53.8	38.6	65.0
むつ	35.8	27.6	28.8	36.3	36.8	35.8	48.1	39.4	35.3	43.2	32.8	64.4
八戸	26.1	28.6	30.1	26.6	38.1	34.5	48.3	31.7	37.1	37.3	38.2	61.7
秋田	46.5	40.2	36.2	29.7	50.6	47.2	71.5	61.5	45.1	56.8	51.5	73.6
盛岡	38.6	32.7	32.0	30.8	43.3	40.8	56.8	58.2	50.7	58.6	43.7	75.5
大船渡	50.0	55.9	43.9	50.9	60.7	57.6	63.0	69.1	38.2	50.3	56.9	91.5
宮古	31.9	35.5	31.0	29.5	43.7	44.1	53.8	46.4	39.0	49.5	50.0	81.3
仙台	33.7	45.0	29.3	31.6	42.4	63.8	55.7	63.5	40.5	55.3	45.4	73.6
石巻	33.3	37.6	27.3	27.2	31.9	52.6	46.1	52.1	32.9	36.1	33.3	57.6
山形	27.0	30.3	24.0	24.4	28.2	50.0	44.5	56.2	43.2	50.1	36.3	62.4
新庄	40.5	35.8	30.4	25.7	45.3	60.0	64.4	78.1	43.1	60.5	45.3	68.6
酒田	44.7	37.7	34.4	24.9	46.4	56.7	70.1	70.7	45.3	57.4	40.0	78.4
福島	25.9	35.8	25.8	25.4	31.4	61.4	46.5	53.6	44.8	45.7	36.5	62.2
若松	27.5	29.3	23.7	20.3	33.7	61.7	56.1	60.5	43.5	47.2	39.1	44.8
白河	40.4	41.3	38.2	40.1	55.5	72.0	65.0	69.4	52.4	65.8	62.8	99.7
小名浜	48.3	60.3	38.5	35.3	47.4	67.1	49.5	46.3	24.7	46.3	33.5	61.9

旬日照時間 平年値 (h)	5 月			6 月			7 月			8 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
青森	64.7	68.3	77.5	64.0	59.6	57.1	53.8	56.3	67.2	67.0	60.8	63.1
深浦	58.4	63.9	75.1	64.5	58.6	56.6	52.7	56.1	68.9	63.3	61.8	60.8
むつ	64.9	65.4	77.5	61.2	52.8	48.7	47.3	45.8	58.0	57.6	46.5	48.9
八戸	65.6	64.9	77.1	61.9	56.5	50.5	51.0	51.5	66.6	62.8	56.3	54.3
秋田	56.9	61.2	73.2	65.6	59.5	53.1	49.3	52.8	69.5	65.5	68.0	66.9
盛岡	61.3	61.7	71.9	57.8	51.3	42.6	42.2	42.0	59.1	56.4	52.9	49.6
大船渡	61.1	61.1	74.1	59.0	50.1	39.1	45.3	41.9	63.0	59.3	51.4	50.9
宮古	61.6	59.4	70.8	55.3	45.3	39.8	44.9	40.8	63.9	57.7	54.7	53.0
仙台	63.5	60.6	74.6	54.1	43.1	30.9	35.7	37.0	55.4	56.3	49.5	49.7
石巻	65.1	63.8	77.6	59.5	48.6	37.6	42.6	44.5	62.4	62.7	57.9	57.6
山形	62.9	62.0	76.9	62.2	52.3	39.3	42.7	43.2	70.0	61.9	61.8	61.0
新庄	55.7	56.8	67.6	59.7	53.2	39.9	40.8	45.3	68.4	60.6	61.3	55.6
酒田	60.5	62.3	76.6	66.2	60.0	49.7	46.5	53.4	80.0	71.0	72.3	68.3
福島	64.1	59.7	74.2	54.6	43.6	32.0	37.8	37.1	58.8	57.7	51.5	50.6
若松	62.8	60.1	74.9	63.9	53.9	40.1	46.8	45.6	76.6	67.8	66.4	65.3
白河	59.9	59.1	69.5	51.9	41.4	28.9	35.9	35.5	58.9	54.1	50.3	49.7
小名浜	62.7	62.4	74.5	58.5	44.9	35.2	42.1	41.9	69.4	66.0	65.0	63.0

( 4 ) 接近する台風の平年値

	5 月	6 月	7 月
東北地方	0.0	0.1	0.3

< 参考資料 ( 利用上の注意 ) >

- ( 1 ) 気温 ( 降水量 ) 等は、「低い ( 少ない ) 」「平年並」「高い ( 多い ) 」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分 ( それぞれ 3 3 % ) となるように決めてあります ( 気候的出現率と呼びます ) 。
- ( 2 ) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度 ( 3 0 % 、 4 0 % ) の確率しか付けられません。
- ( 3 ) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い ( 少ない ) 場合は「平年に比べて多い ( 少ない ) 」、また平年の日数と同程度に多い ( 少ない ) 場合には「平年と同様に多い ( 少ない ) 」と表現します。

# 東北地方 3 か月予報解説資料 (5～7 月)

平成 22 年 4 月 22 日 仙台管区气象台

## 1. 向こう 3 か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
5～7 月：	平年並または低い確率がともに 40%	平年並または多い確率がともに 40%
5 月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
6 月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
7 月：	平年並または低い確率がともに 40%	平年並または多い確率がともに 40%

## 2. 暖候期予報の見直しについて

最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、2 月 25 日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

## 3. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

数値予報による海面水温偏差の予想(右上図)では、エルニーニョ現象は終息し太平洋赤道域は次第に負偏差となるが、インド洋では明瞭な正偏差で高温が続く予想となっている。

熱帯の降水量の予想(図略)では、インド洋の海面水温が高いことに関連し、ベンガル湾からフィリピンおよびその東で対流活動が平年より不活発となる。

海面気圧予想図(右下図)では、太平洋高気圧は沖縄・奄美など西への張り出しは強いが、本州など北への張り出しは弱く、北日本で平年より気圧が低くなっている。オホーツク海高気圧はみられないが、インド洋が高温の時には出現しやすい傾向があることから、平年程度の出現を見込んでいる。

500hPa 高度(右中図)では、北緯 30 度以南を中心に正偏差で、エルニーニョ時および終了直後の特徴が現れている。

これらのことから東北地方は、6 月と 7 月には低気圧や前線、オホーツク海高気圧の影響で曇りや雨の日が多く、気温の低い時期がある見込み。

月別の海面気圧予想図(図略)などからは、

**5 月：**天気は数日の周期で変わると予想される。気温の変動が大きい見込み。

**6 月：**低気圧や前線、オホーツク海高気圧の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想される。気温の低くなる時期がある見込み。

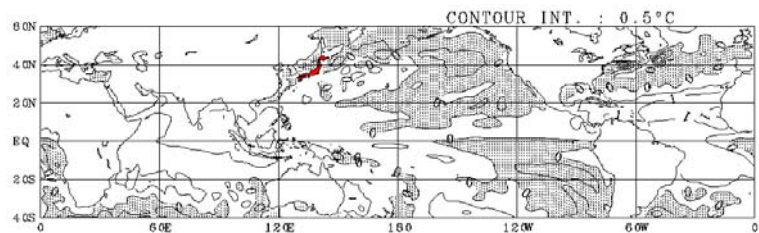
**7 月：**低気圧や前線、オホーツク海高気圧の影響で平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想される。気温の低くなる時期がある見込み。

### <参考資料>

#### 平年の天気出現日数 (日)

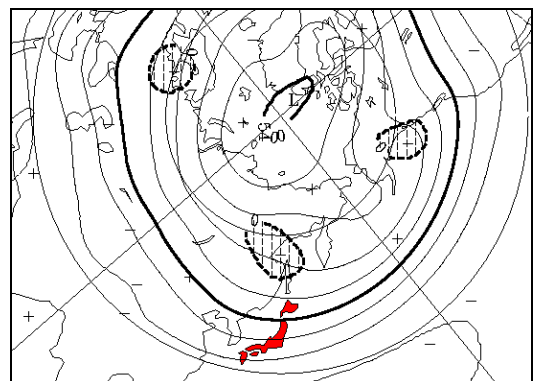
	5 月		6 月		7 月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	17.6	17.7	14.3	12.0	14.6	12.6
雨の日	10.4	9.3	10.3	10.4	10.9	11.1

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率 40% 以上の日数」、「日降水量 1mm 以上の日数」を用いている。



3 か月平均の海面水温偏差の予想図

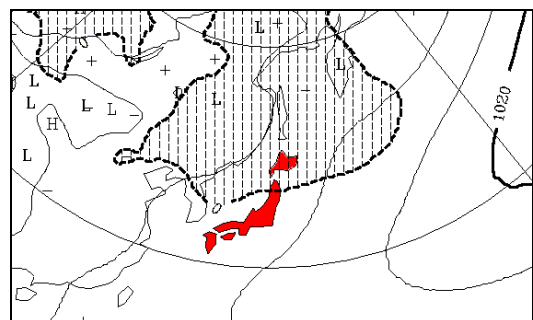
等値線は 0.5°C 毎。陰影部は負偏差



3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎

陰影部は負偏差 (一般に寒気に対応)



3 か月平均の海面気圧と偏差の予想図

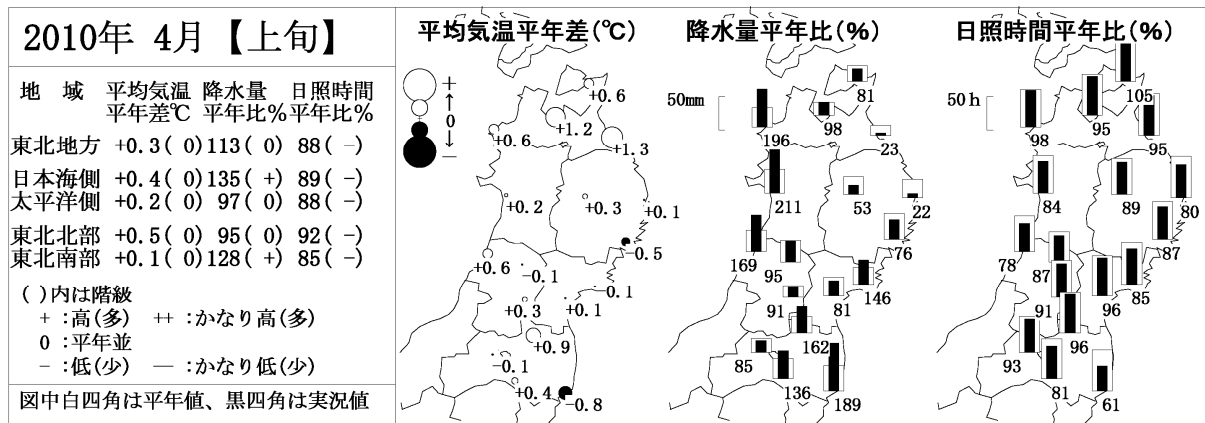
実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎。

陰影部は負偏差

#### 4. 最近の天候経過

4月上旬：この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、中頃と終わりは高気圧におおわれて晴れた日もあった。5日は日本の南岸を低気圧が東進したため、東北南部で大雨となったところがあった。

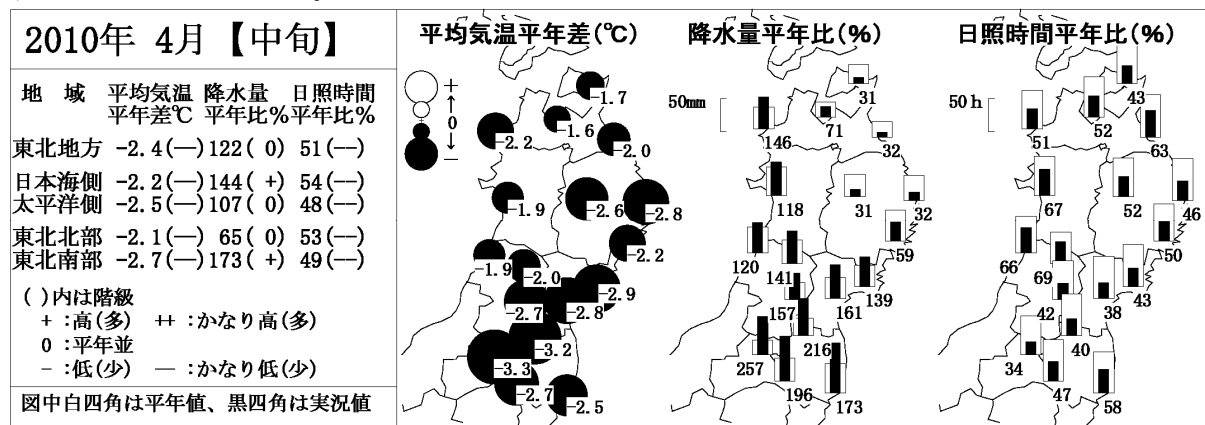
平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北地方で少ない。



東北地方における4月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

4月中旬：この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨または雪の日が続いた。12日は日本の南岸を低気圧が東進し東北南部で大雨となったところがあった。13日から14日にかけては、日本海の低気圧が発達しながら北東進した影響で大荒れの天気となり、各地で強風による被害が発生した。低気圧の通過後は強い寒気が南下して、気温の低い日が続き、17日には三陸沖を発達しながら北東進した低気圧の影響で東北南部で積雪となった。

平均気温は東北地方でかなり低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。

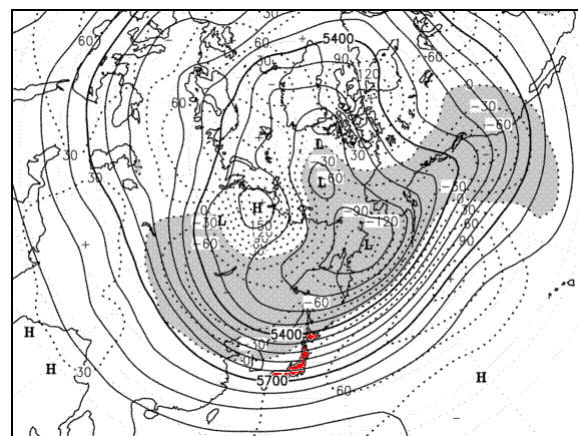


東北地方における4月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

#### 5. 今月の循環場の特徴

4月(20日まで)：500hPa 高度では、東シベリアからユーラシア大陸東岸にかけては負偏差だったが、日本の東海上や南海上で正偏差だった。日本付近は南北の気温の違いが大きく、低気圧や前線の影響を受けやすかった。

東北地方は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、低気圧の通過の前後で気温の変動が大きかった。また、中旬には強い寒気が南下して顕著な低温となった。



4月1日～20日の平均500hPa高度

実線は等高線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎、陰影部は負偏差